

どうなる新型コロナウイルス(2019-nCoV)？

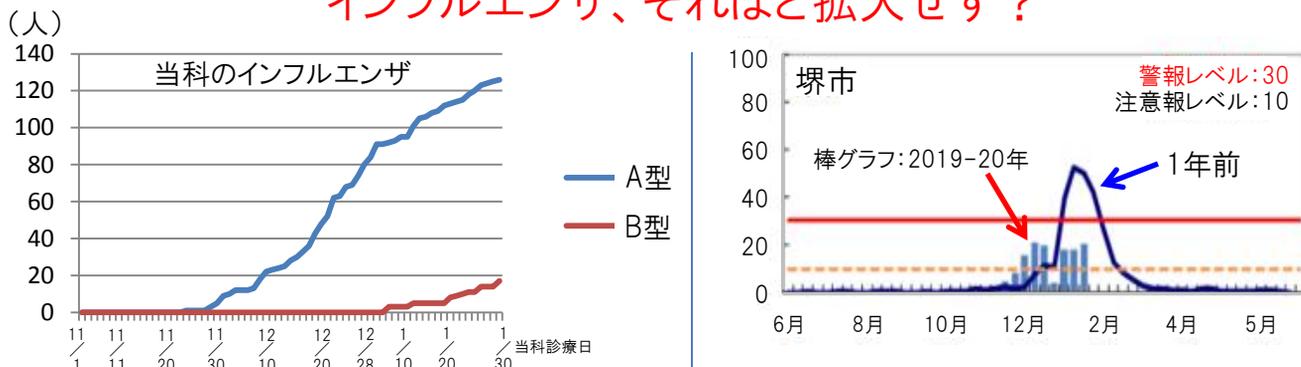
連日報道され、不安に思っていることと思います。検査キットはなく、潜伏期間が2～14日間と長いときもあり、潜伏期間中でも感染し、軽症者が相当多く含まれるなら、私見ですが、封じ込めは困難ではないかと思えます(中～重症者しか感知されないの)。対処としましては、飛沫・接触感染が疑われているので、①せきエチケットを守る(正しいマスクの付け方で)、②不必要に物を触らない、ウイルスの膜は脂質なのでアルコールや石鹸などの界面活性剤に弱い性質があり、消毒や手洗いは有効です。治療は対症療法が中心になりますが、SARSやMERSで抗HIV薬＋インターフェロンが有効な可能性があり(動物実験レベル)、トライし始めていると思われま

す。米国立衛生研究所(NIH)と米ワクチンメーカーのノババックス社、あるいは米ジョンソン・エンド・ジョンソン社がワクチン開発を開始しており、早ければ今夏にも完成するかもという記事があります。

(1月30日時点での記事によります。今後いろいろと新しい情報が出てくると思われます。)

出典：厚生労働省HP『中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎について(令和2年1月30日版)』、山本舜悟氏作成スライドHP『15分でわかる新型コロナウイルス(2019-nCoV)感染症』、日経ビジネス電子版『新型コロナウイルスについて知っておきたい20のこと(随時更新)』、ロイターHP『米J&J、新型肺炎のワクチン開発に着手 エボラ出血熱の技術応用』

インフルエンザ、それほど拡大せず？



2020年第3週(1月13日から19日)の定点当たりの報告数は16.73で、この1週間の患者数を推計すると約63.4万人、昨年9月2日以降の累積は推計受診者数は約502.4万人となっています。

大阪府下の第4週(1月20日から26日)の定点当たりは21.19でした。堺市では同20.79でした。国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、2019年12月16日から2020年1月19日ではAH1pdm09(いわゆる新型)が93%、B型が5%、AH3亜型(いわゆる香港型)が2%でした。

出典：国立感染症研究所 感染症情報センターHP『インフルエンザ流行レベルマップ 2020年第03週(1月13日～1月19日) 2020年1月22日現在』、大阪府感染症情報センターHP『前年とのインフルエンザ流行状況の比較～4週(1月20日～1月26日)』

麻疹風疹(MR)ワクチン第2期は3月31日(火)まで

-3月1日～7日は子ども予防接種週間-

子ども予防接種週間に合わせ、当科では3月7日(土)12時から予防接種専用時間を設けますので、未接種のワクチンがあれば、ご予約ください。

『堺市プレミアム付商品券』のご使用は令和2年3月31日までに



当科では『堺市プレミアム付商品券』を通常の(子ども医療費助成制度での)診療の自己負担分500円や任意接種ワクチン代の一部としてもお使いいただけます。購入期限が令和2年2月29日(土)、使用期限が令和2年3月31日(火)ですので、ご注意ください。おつりはお出しできませんので、ご了承ください。

出典：堺市HP『堺市プレミアム付商品券事業について』

これまで人類を脅かしてきた感染症

感染症	時代	脅威
天然痘	紀元前:エジプトのミイラに天然痘の痕跡がみられる。 6世紀:日本で天然痘が流行、以後、周期的に流行する。 1798年エドワード・ジェンナーが牛痘種痘法を発表する。 1876年から日本で幼児への種痘が義務付けされた。 1955年:日本で天然痘が根絶された。 1980年:WHOが天然痘の世界根絶宣言をした。	「ローマ帝国」、「アステカ帝国」、「インカ帝国」が滅んだ原因といわれる。 20世紀だけで世界で天然痘による死者は推計3億人に上った。
ペスト	540年頃:ヨーロッパの中心都市ビザンチウム(コンスタンチノープル)に広がった。	最大で1日1万人の死者が出たといわれる。
	14世紀:ヨーロッパで「黒死病」と呼ばれるペストが大流行。	ヨーロッパだけで全人口の4分の1から3分の1にあたる2500万人が死亡したといわれる。
新型インフルエンザ	1918年:スペインかぜが大流行。	世界で4000万人以上が死亡したと推定される(当時の世界人口は18億人)。
	1957年:アジアかぜが大流行。	世界で200万人以上が死亡したと推定される。
	1968年:香港かぜが大流行。	世界で100万人以上が死亡したと推定される。
	2009年:新型インフルエンザA(H1N1)pdm09が大流行。	2010年8月1日時点で世界の214か国・地域で感染を確認、1万8449人の死者が出た(WHO集計)。
新興感染症	1981年:HIV感染症	2018年末までに7490万人が感染、3200万人がエイズ関連疾病で死亡したと推定されている。
	1996年:プリオン病	イギリスでクロイツフェルト・ヤコブ病と狂牛病との関連性が指摘されている。
	1997年:高病原性鳥インフルエンザ	2009年5月22日までに、ヒトでの高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)感染者は429人、死者は262人に上った。
	2002年:SARS(重症急性呼吸器症候群)、SARS-CoV	2002年11月22日から2003年7月末までの9か月間に全世界32か国において、8,096例が発症、死者774例を出した。
	2012年:MERS(中東呼吸器症候群)、MERS-CoV	2012年9月以降、2019年11月末までに報告された診断確定患者数は2,494名、死者は少なくとも858名に上った。
再興感染症	結核 紀元前:エジプトのミイラに結核の痕跡がみられる。 1935~:結核が日本の死亡原因の首位であった。 1950年:抗生物質により発生減少 現在:抗生物質抵抗性の結核菌が現れている。	2016年世界で1040万人が罹患し、170万人が死亡した(HIV感染者40万人を含む)。
	マラリア 紀元前:「マラリア」についての記録が残っている。 6世紀:ローマ帝国を中心に大流行。 1950年代:殺虫剤DDTなどによる根絶計画実施。 現在:DDT抵抗性のハマダラ蚊が出現している。	毎年2億人が罹患し、毎年約40万人が死亡している。

出典: 大鵬薬品株式会社 HP『人類を脅かす感染症のパンデミック(世界的大流行)』、Wikipedia HP『天然痘』、『ウイルスの社会史』、サライ.jp HP『元号を何度も変えた病気があった!?「天然痘」と人類のたたかい』、UNAIDS HP『ファクトシート - グローバル エイズ アップデート2019』、ウイルス 第59巻 第1号 pp53-58、2009『高抗原性鳥インフルエンザと野鳥の関わり』、Medical Note HP『SARSiについて』、厚生労働省HP『中東呼吸器症候群(MERS)について』、厚生労働省FORTH HP『結核について(ファクトシート)』、海外渡航者のためのワクチンガイドライン/ガイダンス2019『付録:マラリアの予防対策』

麻疹・風疹以外で日本でも注意を要する感染症 (これで全てではありません)

破傷風	世界中の土壌、動物やヒトの腸管内に存在しています。土いじりや錆びた釘、災害時の活動などで感染する可能性があります。毎年100例近くの報告があります。潜伏期間を経て、毒素によって痙攣するようになり、死に至る場合があります。治療薬として抗毒素製剤があります。予防接種がありますが、日本で1968年以前に出生した人は受けていません。また、定期接種を受けていても10年程で免疫が低下している可能性があります。
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	マダニを介して感染するウイルスです。予防接種も有効薬もなく、致死率は6.3~30%です。2013年3月4日から2019年12月25日までの報告数は497例で、うち70例が死亡しています。西日本に広がってきています。
髄膜炎菌	まれに寮などの集団生活で急に集団発生します。髄膜炎菌性菌血症の致命率は約40%あります。日本で2019年ほぼ1年間の集計で侵襲性髄膜炎菌感染症として48例の報告がありました。ワクチンがあります。
百日咳	特に3か月未満の赤ちゃんが罹ると死亡原因になりえます。日本で2019年ほぼ1年間の集計で16,785例の報告がありました。詳しくは新・子どもと健康No.32をご覧ください。

出典: Medical Note HP『破傷風』、国立感染症研究所HP『重症熱性血小板減少症候群』、『IDWR速報データ2019年第52週、全数把握疾患、報告数、累積報告数、都道府県別』、海外渡航者のためのワクチンガイドライン/ガイダンス2019『髄膜炎菌ワクチン』

2月・担当医の変更

15日(土) 片桐→赤澤
18日(火) 赤澤→片桐